

■ 講師紹介

たから くらよし

高良 倉吉 先生（琉球大学名誉教授）

沖縄史料編集所、沖縄県立博物館、浦添市立図書館館長、琉球大学法文学部教授、前沖縄県副知事を歴任。

専攻は琉球史・文学博士。首里城復元の委員として首里城復元に中心的な役割を果たされたほか、NHK 大河ドラマ「琉球の風」監修、NHK 時代劇「テンペスト」時代考証などもつとめる。



〔主な著書〕『琉球・沖縄と海上の道』吉川弘文館、『アジアのなかの琉球王国』吉川弘文館、『新しい琉球史像』榕樹書林、『図説 琉球王国』河出書房新社、『琉球王国』岩波書店、『琉球王国史の課題』ひるぎ社、『琉球王国の構造』吉川弘文館 ほか

かつて首里城は琉球王国の政治・行政・文化の中心であり、東南アジア諸国との外交・交易の拠点としての役割を果たしてきました。高良倉吉先生は、沖縄戦で破壊された首里城の復元に関われ、特に明治以前の建築様式について資料を調べ、往時の姿での復元を目指されました。これは大変な調査研究です。現在は、どんな資料を集めたのか、どのような分析を行ったのかといった復元の根拠についても、次世代へ伝えるため尽力されています。デジタルアーカイブは、「現状の記録」と「歴史や文化等の背景」をいかに正しく記録し、伝えるかが重要です。

今回、高良倉吉先生のご講演のあと、首里城および近郊の多くの文化財等のフィールドワークを行います。デジタル・アーキビストとして、大変貴重な体験になることと思います。

デジタルアーカイブで、何をどのように次世代へ継承することが可能でしょうか。ぜひ、文化資源の収集、保存、活用などについて具体的に検討する機会にしてください。

首里城跡（世界遺産）



首里城 正殿（琉球最大の木造建築物）

那覇市首里の丘陵地帯に立地。

尚巴志が琉球を統一した 1429 年から琉球処分の行われた 1879 年までの 450 年間、歴代の琉球国王の居城および政治・行政、宗教、文化の拠点であった。沖縄戦によりほぼ全焼したが、その後徐々に復元し現在に至る。



左より▲正殿内御差床(2 階)／葡萄栗鼠文(御差床の羽目板)／国王の玉冠(皮弁冠または玉御冠)



首里城跡（世界遺産）近郊の文化財・史跡

首里城公園の周辺には、王国時代から受け継がれた歴史的建造物や史跡、戦跡などが点在しています。首里城見学の際はぜひ周辺の散策をお勧めします。



すいむいうたき

左より▲首里森御嶽(王府の重要な御嶽・礼拝所)／龍樋(瑞泉門右下の岩間から清らかな水が流れている)／園比屋武御嶽石門(世界遺産)



りゅうひ ずいせんもん



そのひやんうたきいしもん



たまうどうん

左より▲玉 陵(世界遺産)／守礼門／龍潭



左より▲円鑑池と弁財天堂／金城町の石畳／第 32 軍司令部壕跡（戦跡）／一中健児之塔・沖縄県立第一中学校鉄血勤皇隊壕跡（戦跡）



今回の「沖縄デジタルアーカイブセミナー」では“首里城研究の第一人者”と施設等を見学することができます。この機会にぜひご参加ください！！

沖縄デジタルアーカイブセミナーについての お問い合わせ先

岐阜女子大学沖縄サテライト校 URL <http://www.gijodai.jp/okinawa/>

〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東浜 1 番地 TEL(098) 943-9705 FAX(098) 943-9706 (担当：新垣英司)

F A X 098-943-9706 または、E-mail arakakih@gijodai.ac.jp に、「沖縄 DA セミナー申込」と明記のうえ、郵便番号・住所・氏名（フリガナ）・所属・電話番号（連絡が取りやすい番号）をお知らせください。後日、受講票を送付いたします。